



養徳だより

前期特別号

令和 8 年 8 月 31 日

校長 鍵村 佳江



京都はくみ憲章
社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

☆☆ 令和 8 年度 第 1 回目 学校評価アンケートの結果より ☆☆

7 月には保護者の皆様に学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。同時に児童には日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の教育活動等について実現度を自己評価するアンケートを実施しました。その結果をまとめましたのでお知らせします。保護者の皆様からいただいた学校評価と児童の自己評価を通して、本校の教育活動の中で継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

実現度：そう思う・だいたいそう思うを合わせた値

	児童アンケート質問項目	実現度
①	学校の勉強はよく分かる。	93.9%
②	進んで自分の意見を发表或し、自分の考えを伝えたりしている。	76.3%
③	先生や友達の話を最後まで聞いている。	94.7%
④	家でも学校でも、本をたくさん読んでいる。	63.5%
⑤	家庭学習（宿題や自主学習など）を毎日している。	82.9%
⑥	進んであいさつをしたり、「ありがとう」「ごめんなさい」と言ったりすることができる。	95.2%
⑦	学校や学級の決まりを守っている。	94.9%
⑧	友達と仲よくしている。	96.5%
⑨	先生や友達と話をするときは、言葉づかいに気をつけて話している。	91.2%
⑩	苦手なことでも、ねばり強く取り組んでいる。	87.7%
⑪	家の人に、学校の話がたくさんしている。	79.7%
⑫	朝ご飯を毎日食べている。	95.2%
⑬	早寝早起きをしている。	78.9%
⑭	休み時間や放課後は、外で元気に遊んでいる。	77.6%
⑮	テレビやゲーム、スマートフォン、タブレットなどは、時間を決めて、ルールを守って楽しんでいる。	83.2%
⑯	通学路を守って、安全に気をつけて登下校している。	94.9%
⑰	家で毎日お手伝いをしている。	67.2%
⑱	学校からのおたよりを、家の人に必ず渡している。	82.4%
⑲	学校でも、学校以外でもいつも安全に気をつけて行動している。	94.1%
⑳	安全の勉強は大切だと思う。	96.8%

	保護者アンケート質問項目	実現度
①	子どもは、学習内容をよく理解している。	87.0%
②	子どもは、自分の思いや考えを伝える力がついている。	86.0%
③	子どもは、人の話を最後までしっかりと聞いている。	78.4%
④	子どもは、たくさん本を読んでいる。	45.2%
⑤	子どもは、家庭学習（宿題や自主学習など）を毎日している。	95.7%
⑥	子どもは、進んで挨拶をしたり、「ありがとう」「ごめんなさい」と自分の気持ちを言葉で伝えたりしている。	80.8%
⑦	子どもは、家や学校の約束やきまりを守っている。	92.8%
⑧	子どもは、友達と仲良く過ごしている。	96.6%
⑨	子どもは、正しい言葉づかいや話し方が身についている。	77.9%
⑩	子どもは、苦手なことにも最後まで粘り強く取り組んでいる。	72.1%
⑪	子どもは、家で学校のことをたくさんしている。	80.3%
⑫	子どもは、朝ご飯を食べる習慣が身についている。	95.7%
⑬	子どもは、早寝早起きの習慣が身についている。	81.7%
⑭	子どもは、外で元気に遊んでいる。	77.9%
⑮	子どもは、メディア（テレビやゲーム、スマートフォン、タブレット等）を決められた時間内にルールを守って楽しんでいる。	65.9%
⑯	子どもは、安全に気をつけて登下校している。	98.6%
⑰	家庭内で、子どもの役割（お手伝い）を決めている。	55.8%
⑱	学校だよりをはじめ、学校からの文書やホームページをよく読んでいる。	67.8%
⑲	学校で学んだ安全学習が、家庭でもいきていると思う。	95.2%
⑳	安全についての学習は、大切だと感じる。	100%

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう！



	教職員アンケート質問項目	実現度
①	児童は、学習内容をよく理解している。	100%
②	児童は、話す力が身についている。	100%
③	児童は、聞く力が身についている。	90.5%
④	児童は、読書の習慣がついている。	85.7%
⑤	児童は、宿題や自主学習を毎日提出している。	95.2%
⑥	児童は、進んで挨拶をしたり、「ありがとう」「ごめんなさい」と自分の気持ちを言葉で伝えたりしている。	95.2%
⑦	児童は、学校や学級のきまりを守っている。	100%
⑧	児童は、友達と助け合ったり協力したりして、仲良く過ごしている。	100%
⑨	児童は、正しい言葉づかいや話し方で周囲の人と接している。	90.5%
⑩	児童は、苦手なことにも最後までねばり強く取り組んでいる。	90.5%
⑪	児童は、教師に何でも相談することができる。	95.2%
⑫	児童は、給食を残さず食べる習慣が身についている。	90.5%
⑬	児童は、朝の健康観察時、元気な様子である。	95.2%
⑭	児童は、元気よく外で遊んでいる。	85.7%
⑮	児童は、メディアリテラシーを身につけている。	90.5%
⑯	児童は、安全に気をつけて登下校している。	95.2%
⑰	児童は、当番活動や係の仕事、掃除など責任をもって取り組んでいる。	95.2%
⑱	学校だよりや学級通信、ホームページ等を通じて、学校や児童の様子を、家庭に知らせることに努めている。	90.5%
⑲	児童は、学校生活において、安全についての学習をいかし、自他のいのちを守る安全な行動をとることができている。	100%
⑳	養徳小学校の安全教育は、子どもの資質・能力を育むことにつながっていると感じる。	100%

☆☆☆アンケートの結果から☆☆☆

昨年度に引き続き、児童・保護者・教職員のアンケート 20 項目をそれぞれの番号ごとに関連付けた質問にしました。例えば①は「学校の勉強はよく分かる。(児童)」 「子どもは、学習内容をよく理解している。(保護者)」 「児童は、学習内容をよく理解している。(教職員)」という質問になっています。三者を比べることで、それぞれの意識に共通するものと異なるものが見えてくると考えております。

※ 学習面では、①学習の理解については、全体的に高評価です。(児童 93.9%、保護者は 87.0%、教職員 100%) 児童質問項目②「進んで自分の意見を発表したり、自分の考えを伝えたりしている。」では、児童と教職員の間に 24 ポイント近い差があります。教職員では成長を感じている一方、子どもたち自身は「自信をもって発表する」ことにまだ不十分さを感じていると考えられます。子供たちの自己表現力や自己肯定感を高める活動が今後の課題となってきます。⑤の家庭学習について興味深いのは、児童自身の評価が低いことです。保護者・教職員は「毎日取り組んでいる」と高く評価している一方、児童は自主学習の質や量まで考えて回答している可能性があります。家庭学習の定着は大きな成果といえると感じています。

※ 安全にかかわる⑬⑭⑮の質問項目では、今回も三者とも 90%以上できていると答えています。本校が安全の取組を継続してきた結果、児童が安全に対する強い意識と関心をもち続けていること、安全に関する「知識」を確実に身につけているということが考えられます。今後も引き続き、児童が訓練や学習活動を通じて身につけてきた「知識」を生かし、児童一人一人が、自分の身を守りながら、周りの人々をも意識した安全行動がとれるようにしていきたいと思ひます。

※ 読書にかかわる④では、アンケート結果を見ると、読書習慣は児童 63.5%、保護者 45.2%、教職員 85.7%であり、三者の意識差が最も大きい項目の一つです。学校では読書に取り組んでいるものの、家庭での読書が十分に定着していないことがうかがえます。保護者評価では、メディア利用も 65.9%と低くなっています。こちらについては後述しますが、読書不足とメディア時間には関連があると考えられます。家庭での読書習慣づくりには、「時間・環境・興味・家族の関わり」が大切です。特に小学生の場合は、たくさん読むことよりも、「本は楽しい」と感じる経験を積み重ねることが何より重要だと考えます。学校図書館での読書活動や朝読書、子どもと本の会の皆様による「よんでよんで(本の読み聞かせ)」などで、本の楽しさを感じてほしいと思ひます。

※ メディアリテラシーに関する質問項目⑯では、児童(83.2%)と保護者(65.9%)と開きがあり、保護者評価が特に低くなっています。家庭において、ゲームやスマートフォン・タブレット端末などの利用時間に課題を感じている保護者が多いことが読み取れます。メディアコントロールは、学校だけでなく、家庭との協力が必要な重要課題です。学校でも家庭でも、子どもたちが自らメディア利用をコントロールする力を育むことが大切です。今後は情報モラル教育の充実とともに、家庭と連携したルールづくりや生活習慣の見直しを進めていきたいと考えています。

※以上、簡単ですが考察とします。

※学校運営協議会をはじめとする地域の皆様には、日頃より子ども達のためにご尽力いただき、ありがとうございます。今後とも、子ども達の健やかな成長のため、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。